



広報 **さがま**

—ひと・まち・自然 みんなで紡ぐ さがま町—

2022

4

No. 205

春光に映える真っ赤な丘
—— 虎居のクルメツツジ

令和4年3月20日

流水小学校閉校記念式

1. 何気ない普通の日も大切だったと振り返る麦田有真さん(右)、先輩の想いを受け継いで新鶴田小でも明るい学校づくりを誓う大野虎太郎さん
2. 児童が式典におけるお願いや案内を行いました
3. 出席者は、閉校記念で作成した校章や校訓が載った缶バッジを身に着けました



令和4年3月19日

鶴田小学校・鶴田幼稚園閉校記念式



1. 6年間のたくさんの想い出と、成長できたことへの感謝を述べた植村耶音さん
2. 記念碑の除幕の前に校歌を演奏
3. 昨年休園した鶴田幼稚園の玄関には、手作りのモザイクアートが
4. 学校とともに歴史を刻んだ校旗を返還しました



令和4年	23年	17年	11年	平成2年	56年	52年	47年	36年	34年	26年	22年	昭和16年	昭和12年	大正7年	昭和32年	昭和23年	昭和20年	昭和12年	明治9年
流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校
流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校



令和4年	3年	30年	29年	27年	24年	23年	16年	15年	10年	9年	8年	平成6年	57年	56年	40年	38年	昭和37年
流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校
流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校	流水小学校閉校

流水小学校と鶴田小学校は
令和4年3月31日、永い歴史に幕を下ろしました

流水小学校、鶴田小学校

たくさんの思い出をありがとう





2. 「まち」にぎわう

価値ある資源が活かされるまち

- ▶ 認定農業者や集落営農組織などの農業用機械の購入支援
- ▶ 労働力不足などの解消に向けたスマート農業機器の導入支援
- ▶ 全国和牛能力共進会鹿児島大会に向けた関係機関との連携
- ▶ 高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫などに対する家畜防疫体制の強化
- ▶ 令和3年7月豪雨で被災した農地や林道などの災害復旧事業の推進
- ▶ 「薩摩のさつま」ブランド化による販路拡大
- ▶ 第3弾さつま応援商品券の発行
- ▶ 新卒者や転入者への就労支援奨励金の支給などによる町内企業への雇用促進

さつま学の推進による人間性豊かなまち

- ▶ 青少年交流や親子の体験活動を通じた郷土愛や生きる力の醸成
- ▶ 生涯学習への関心を高める魅力ある学習環境づくり
- ▶ 特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」に向けた機運の再醸成
- ▶ 新たな文化施設の整備に向けた基本構想や計画を定める

みんなに優しく魅力あふれるまち

- ▶ 北薩横断道路の「広瀬道路・宮之城道路」の早期完成に向けた関係機関との連携
- ▶ 令和3年7月豪雨で被災した道路や河川などの災害復旧事業の推進
- ▶ プロジェクトチームによる人口減少対策の検証と事業の推進
- ▶ インターネット環境における高速通信網を活用したサービスの向上

3. 「自然」うるおう

豊かな自然を守り、水と緑に癒されるまち

- ▶ 北薩広域公園の歴史ゾーンの早期整備や園内施設の充実
- ▶ 「持続ある未来づくり、カーボンニュートラルさつま町宣言」(仮称)を行い、さつま町から地球環境を考え提案する取組を推進

ふるさとを見直し、資源を大切にすまち

- ▶ リサイクル率向上、ごみの減量化、不法投棄防止の強化

4. 「みんなで紡ぐ」

語らいで育む、連携と役割を担うまち

- ▶ 全地区で「みんなで紡ぐ、希望のまちづくり座談会」(仮称)を開き、町民参加・参画の推進につなげる
- ▶ 町ホームページのリニューアル
- ▶ 公共施設のキャッシュレス決済の実証実験を実施
- ▶ デジタル化推進のため、民間からの専門的な人材の登用
- ▶ 女性職員の管理職への積極的な登用

まちづくりの 羅針盤

3月議会定例会で

上野俊市町長が表明した

施政方針の概要をお知らせします。

令和4年度は、町政を預かり2年目となります。マニフェストに掲げた6つの目標を具体的に実行しながら「夢と希望のあるさつま町の未来を創る」ために全身全霊で取り組んでいきます。人口減少や超高齢化などに関する課題の解決と、持続可能な地域づくりに向けて、町民や企業、関係機関、学校などと連携した取組を進めていくために、SDGs週間である9月下旬を目安に「希望輝く、さつま町SDGs推進宣言」(仮称)を行う予定です。

上野 俊市

施政方針の全文は
町ホームページに掲載



▶ …… 新たに取り組む事業

1. 「ひと」ふれあう

まちぐるみで育む、子どもの笑顔が輝くまち

- ▶ 妊娠8か月を迎えた母親に出産準備応援給付金を支給
- ▶ 不妊治療費の助成の拡充
- ▶ 3歳児健診で視覚検査機器を導入
- ▶ インフルエンザ予防接種の助成対象を、生後6か月～高校3年生と妊産婦に拡充
- ▶ 子ども虐待防止や早期発見のための関係機関との連携
- ▶ 柏原小学校の環境改善を図るための大規模改造
- ▶ 4月に開校した鶴田小学校のフォローアップ
- ▶ 薩摩中央高校の魅力ある学校づくりと情報発信

ともに認め合い、支え合うまち

- ▶ 多文化共生を推進するための計画を定める
- ▶ 外国人が地域活動に参加し、地域住民と交流しやすくなるための公民会活動への支援
- ▶ ベトナム語、英語、日本語などが堪能である外国人交流員の配置を検討

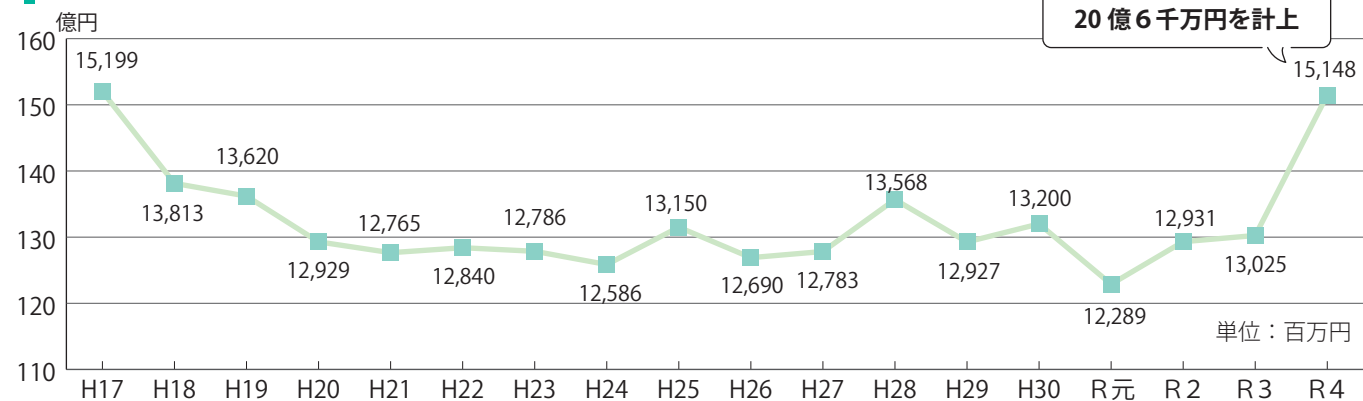
希望に満ちて、生涯をいきいきと暮らせるまち

- ▶ 生活を支援する「おたすけ隊」など、住民が主体の地域ボランティアを支援
- ▶ さつまる・ふくしまルシェなどを通して、就労支援事業所の活動を紹介し、障がいがある方への理解を深める
- ▶ 特定健診やがん検診の受診率向上に取り組み、病気の早期発見・治療につなげる
- ▶ 地域医療の核となる薩摩郡医師会病院の医師確保に対する支援
- ▶ 新型コロナウイルスワクチン接種の体制確保

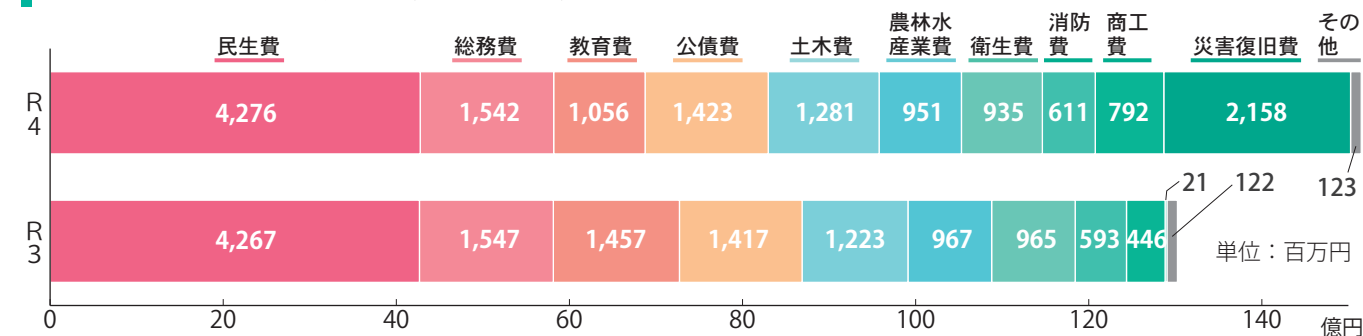
安全・安心の輪を広げるまち

- ▶ 自主防災組織が行う防災活動への支援
- ▶ 地域防災リーダーなどの育成費用への助成
- ▶ 自主防災組織が運営する届出避難所運営事業を新設
- ▶ 北薩3消防本部通信指令業務の共同運用を推進
- ▶ 消防団員の報酬の見直しと自動車保険への加入

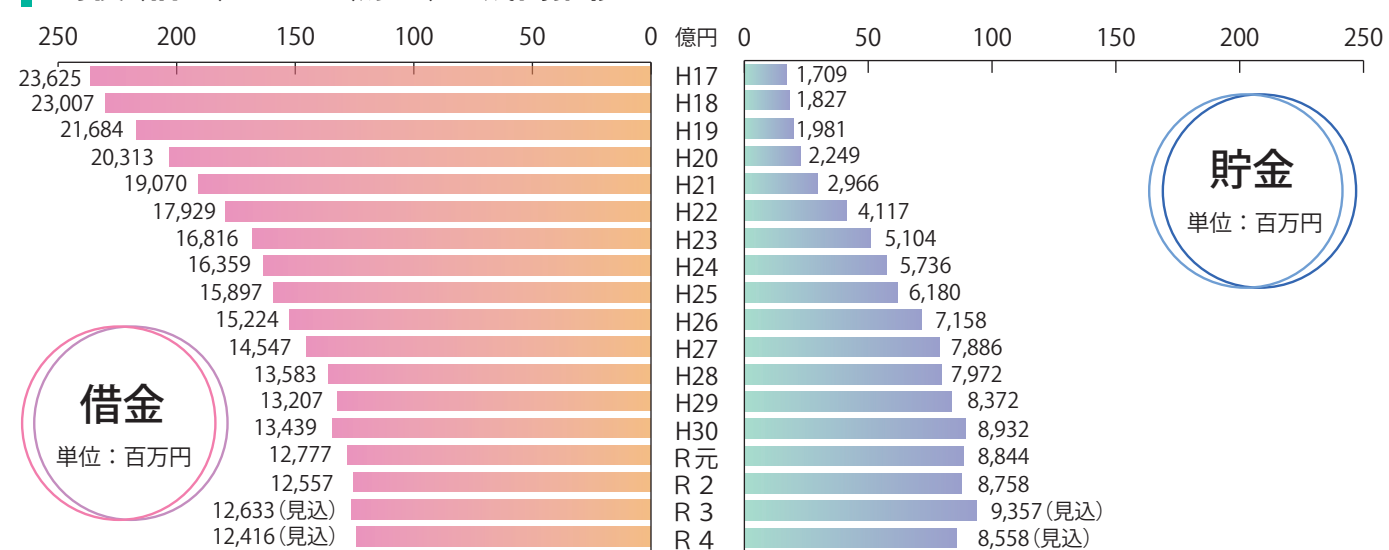
当初予算の推移（一般会計）



歳出の目的別分類状況（一般会計）



町債（借金）と基金（貯金）の残高推移



公債費負担適正化計画により地方債（公共施設の整備などでの財源不足を補うための借入金）の借入額を抑えることで、町債残高が減少するように取り組んでいます。

災害や施設の老朽化に伴う経費などを補うため、計画的に積立をしています。しかし、不足する財源を基金の取り崩しなどに頼らざるを得ず、残高の減少が懸念されます。

各会計予算規模

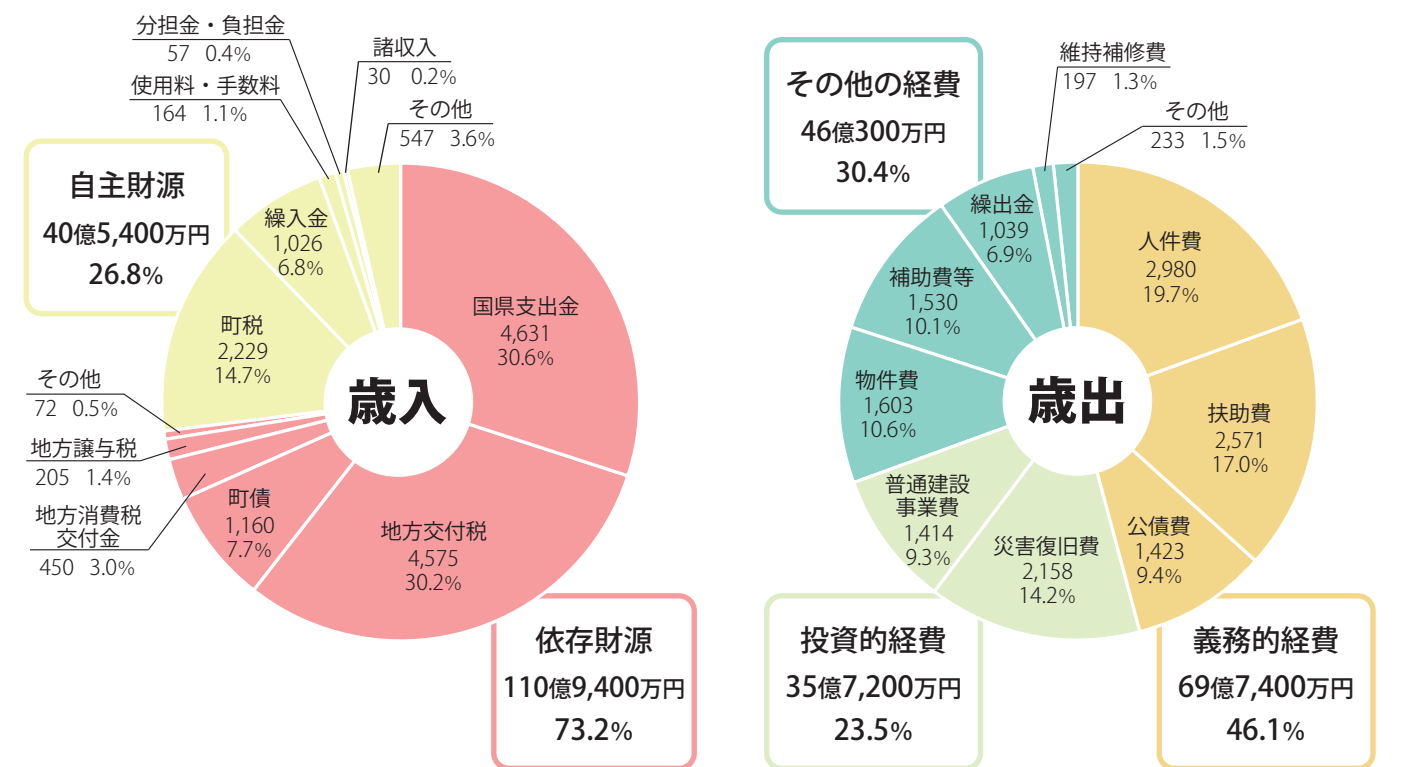
区 分		令和 4 年度	令和 3 年度	増 減 額	増 減 率
一 般 会 計		151億4,800万円	130億2,500万円	21億2,300万円	16.3%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	30億8,558万4千円	30億9,204万5千円	-646万1千円	-0.2%
	後 期 高 齢 者 医 療	3億8,881万4千円	3億6,388万1千円	2,493万3千円	6.9%
	介 護 保 険 事 業	34億6,894万9千円	35億9,440万6千円	-1億2,545万7千円	-3.5%
	農 業 集 落 排 水 事 業	6,620万4千円	5,061万3千円	1,559万1千円	30.8%
企 業 会 計・上 水 道 事 業		6億4,357万3千円	7億5,438万5千円	-1億1,081万2千円	-14.7%

令和 4 年度 当初予算 151億4,800万円

新型コロナウイルス感染防止と地域経済活動の両立を念頭に、豪雨災害からの復旧・復興と防災・減災を最優先として、徹底した行財政改革、事務事業評価結果に基づく見直しを反映した予算編成です。財政運営を取り巻く環境は、少子高齢化、災害対策、デジタル化、社会資本整備や施設の維持管理など深刻な課題に直面しています。令和2年国勢調査結果に伴う減収が見込まれることから、基金を取り崩すなど非常に厳しい予算編成となりました。

歳入状況と歳出の性質別分類状況（一般会計）

※金額、構成比は四捨五入の関係で必ずしも総額、100%にはなりません。単位：百万円



次のような事業に使います

新型コロナウイルス感染拡大による町内経済の落ち込みに対応するため、感染状況を見極めながら、町民1人あたり1万円分の商品券を配布する「第3弾さつま応援商品券」の発行を行います。

令和3年7月豪雨では、本町で線状降水帯が発生し、甚大な被害を受けました。被災した箇所の1日も早い復旧に向けて取り組みます。

がん検診の自己負担額を一律500円とする「ワンコイン検診」を始め、受診率向上や早期発見・早期治療につなげ、町民が自らの健康を守る意識を高めます。（令和6年度まで）



大俣線



グリーンロード1号線

高齢者おたすけ隊 地域振興表彰

2月25日、北薩地域振興局で北薩摩の地域振興表彰の表彰式が行われ、白男川区高齢者おたすけ隊が受賞しました。同隊は、困っている高齢者を支援して住みやすい地域にしたいと平成23年6月に結成され、現在は11人で活動。草刈りや粗大ごみの処分、家財道具の整理などを行っています。隊長の堂園義隆さんは「若年層の入隊もあったのでこれからも頑張りたいです」と話しました。



事務局長の井川浩太郎さん（左）、隊長の堂園さん
10年以上にわたる地域活性化への寄与が評価されました

マイナビ仙台 春季キャンプ練習

2月15日～26日、サッカー女子プロのマイナビ仙台レディースが、北薩広域公園のかぐや姫グラウンドでキャンプを行いました。町からは地元の黒豚やイチゴ、トマト、さつま揚げを贈呈。練習試合では、全日本高校女子選手権で優勝した神村学園高等部とも対戦しました。3月のリーグ再開に向け、キャプテンの浜田遥選手は「目標は優勝。戦術を確認し、まず初戦を勝ちたいです」と話しました。



水色のユニフォームのマイナビ仙台レディースと
白色のユニフォームの神村学園高等部

東郷建設 子ども用車いすを寄贈

3月4日、株式会社東郷建設が子ども用車いす1台と図書25冊を寄贈しました。車いすは4月に開校した鶴田小学校に、図書は町内全ての小学校などに置かれます。代表取締役の山之口博志さんは「地域に根差した仕事をしているので、寄贈することで地域に貢献できればと思います」と話しました。



山之口さん（左）と図書を受け取った原園教育長



伝統的なオイモ柄のベストや帽子、伝統楽器のコムズ

鶴田小 キルギスの文化を学ぶ

3月17日、鶴田小学校5年生が、キルギスでの青年海外協力隊の経験を持つ同校の園中秋葉先生からキルギス文化を学びました。現地に旅行中の元隊員がビデオ通話でキルギスを紹介し、同国をもっと知ってもらうための意見を児童が提案。伝統的なオイモ柄のネクタイやスカーフを日本で販売するなどの意見が出ました。植村星南さんは「多くの人にオイモ柄を知ってほしいです」と話しました。

交通安全母の会 川内野さん受賞

3月18日、町交通安全母の会の川内野かよ子さんが、県交通安全母の会活動功労者表彰の受賞報告を行いました。川内野さんは同会の会長を15年務め、交通安全の呼び掛けや街頭立哨などの長年の活動が認められ受賞。川内野さんは「さつま町で悲惨な交通事故が起きないよう、これからも会員の皆さんと協力して交通安全を呼び掛けたいです」と話しました。



役場を訪れた川内野さん（左）、上野町長
これからも交通安全の呼び掛けを続けていきます

我が家ルールを大切に 農業経営

3月17日、県さつま庁舎で家族経営協定調印式が行われました。同協定は、経営方針や働きやすい環境などを家族間の話し合いで取り決め、意欲的な農業につなげるためのもの。町、農業委員会、県、農家の4者が調印し、新規で3家族、見直しで1家族が協定を締結しました。畜産農家の池江新吾さんは「家族での協議を大切に、規模拡大に向けて取り組みたいです」と話しました。



農業経営に携わる家族全員が協定書に調印しました

町の安全を守る消防団 国交大臣賞

3月18日、町消防団が水防功労者国土交通大臣表彰の受賞報告を行いました。令和3年7月豪雨での人命救助や川内川流域の河川の警戒巡視、避難誘導などの活動が被害の軽減につながり、住民の安全確保に大きく貢献したことから受賞。団長の丸尾省吾さんは「団員の献身的な働きで人的被害を出すことなく活動ができました。これからも訓練を重ね、災害に備えたいです」と話しました。



役場を訪れた丸尾さん（左）、上野町長
令和3年7月豪雨で団員332人が水防活動に従事しました



前列左から、土屋さん、米盛さん、原田さん、
時吉さん、谷口さん、造々さん

国防の使命を誓う 自衛隊入隊者

3月16日、町自衛隊入隊者壮行会が行われました。今年は本町から陸上自衛隊国分駐屯地に6人が入隊し、代表で谷口大翔さんが「さつま町の代表であることを誇りに、一社会人として立派な自衛官となるよう頑張っていきます」と決意を述べました。入隊者の土屋兼紳さん、米盛堅政さん、原田恭輔さん、時吉拳至郎さん、造々竣介さんも、それぞれの誇りと期待を胸に任地へ向かいます。

▶ 鶴田地区の麓、城内公民会が合併

3月13日、鶴田地区の麓、城内公民会が公民会合併調印式を行いました。4月から麓城内公民会となり、本町の公民会数は129となります。少子高齢化により自治組織の維持が困難な公民会が増えているため、町では合併に向けた話し合いへの人的支援や経費補助、合併後の施設整備の補助、新公民会運営のための補助金特例加算などの支援をしています。

問 企画政策課 地域振興係（内線2223）



城内公民会長の浦立洋さん（前列中央左）、鶴田地区公民館長の東哲雄さん（前列中央）、麓公民会長の宮之原敏悟さん（前列中央右）

▶ 美化活動に取り組む団体を表彰

3月17日、町の道路愛護団体・河川愛護団体の表彰式が行われました。公民会長が本庁を訪れ、道路愛護運動で大願寺、上中福良、前目公民会が、河川愛護運動で下平川公民会が表彰されました。これは道路や河川の環境美化に努める団体に贈られるもので、各公民会で除草や支障樹木の伐採などに取り組んでいます。

問 建設課 維持管理係（内線2255）



左から、酒匂和彦さん（下平川）、市場光昭さん（大願寺）
領家達也さん（上中福良）、神村茂美さん（前目）

道路・河川愛護作業の補助を受けやすくなります

令和4年度から、公民会に加え、公民会と共同で町道や町管理河川で作業を行う団体に対し、直接、補助金を交付できるようになります。1年に2回まで補助を受けられますので、ぜひ活用ください。

補助の内容（どちらかだけでも可）

▶ 作業員補助

38,400円（補助上限）

試算：作業員8人×1,200円（時間単価）×4時間

▶ 高所作業車補助

1日分の作業車のレンタル代
（町内事業者の見積書が必要）

補助を受ける条件

- ▶ 補助回数 1年に2回まで
- ▶ 補助対象 公民会、公民会と共同する団体
- ▶ 作業目安 除草500㎡以上
- ▶ その他 全作業員が傷害保険に加入する
高所作業時は資格保有者が作業する

手続きの流れ

- ① 公民会と共同で作業を行う団体は、公民会と協議して作業箇所を選ぶ。
- ② 作業の10日前までに申請書を建設課維持管理係へ提出する。事前着手は認めません。
- ③ 作業を実施する。
- ④ 実績報告書や請求書などを提出する。

注意してください

- ▶ 例年行う愛護作業などは、他の補助金があるため、本制度は適用されません。
- ▶ 補助金の上限額の範囲内で、作業員数や時間数は変更できます。

問 建設課 維持管理係（内線2255）

令和3年度の町民表彰式が開催されました

2月20日、本町の振興発展や町民福祉の向上、文化の発展、公益の増進に多大な貢献をされた個人、団体に対する表彰が行われ、町長から各種表彰状が授与されました。例年、町民大会で行われる表彰でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止で町民大会が中止となり表彰式のみ開催となりました。

町民表彰

地方自治部門

- ・日高 政勝（元町長）
- ・舟倉 武則（元町議会議員）
- ・新屋敷 浩（元町代表監査、元町議会議員）
- ・久保蘭 純隆（元町選挙管理委員会委員長）

教育文化部門

- ・故 坂口 正浩（元町教育委員会委員）

産業経済部門

- ・山本 求道（元町観光特産品協会会長）
- ・北さつま農協中津川採種生産組合

社会福祉事業功労表彰

- ・上間 睦美（轟原民生委員・児童委員）
- ・白男川区高齢者おたすけ隊

◆学校花だんコンクール優秀賞

- ・山崎小学校

◆「親子で作ろう我が家のルール」標語コンクール最優秀賞

- ・志鹿 翔太（山崎小2年）
- ・山崎 凜音（求名小4年）
- ・古町 陸（宮之城中1年）

功労表彰

地方自治部門

- ・米丸 文武（元町議会議員）
- ・岩元 涼一（元町議会議員）
- ・帖佐 達郎（元白男川地区行政推進委員、元浅井野公民会行政連絡委員）
- ・長濱 邦博（元山崎地区行政推進委員、元山崎町公民会行政連絡委員）

- ・母ヶ野 勇次（元西町公民会行政連絡委員）
- ・有馬 辰夫（元東谷公民会行政連絡委員）

社会福祉部門

- ・神馬場 寛章（元人権擁護委員）

教育文化部門

- ・立志 公和（元学校医）

感謝状（一般篤行）

- ・吉留 玲子（高齢者学級指導者）
- ・鹿児島県建設業協会宮之城支部
- ・さつま建友会

◆町青少年育成町民会議キャッチフレーズコンクール最優秀賞

- ・竹島 健人（宮之城中2年）
- ・上屋 ひなた（薩摩中央高校1年）

※過去に広報紙に掲載したものを除く。敬称略。

町民表彰の出席者



前列左から、日高政勝さん、新屋敷浩さん
久保蘭純隆さん、山本求道さん

功労表彰、感謝状の出席者



前列左から、神馬場寛章さん、母ヶ野勇次さん、岩元涼一さん、
米丸文武さん、鹿児島県建設業協会宮之城支部の四元大志さん
（後列中央左）、さつま建友会の岩下一光さん（後列中央右）



さこんじゅう あんな
左近允 杏奈 さん (21)

佐志地区在住。薩摩中央高校生物生産科を卒業後、実家の左近允工務店（現在の(株)左近允）に入社。遺品整理士の資格を持ち、さつまdeまちゼミでは、エンディングノートの書き方や、かんなくずを使った花づくりの講師も務めている。



大工
×
左近允 杏奈



垣根を越え生まれた、厳選されたまちの逸品



薩摩のさつま

※題字は株式会社昭和書体の書家・故 坂口綱紀氏による

独自の認証基準を満たし、自信を持って推奨する本町の地域ブランド「薩摩のさつま」が誕生しました。元々「薩摩のさつま」は、平成17年頃、当時のさつま農協が野菜や果樹などの統一ブランドとして立ち上げたもの。その名称に大きな魅力を感じていた若手事業者の有志の「町の統一ブランドとして、結束した力でふるさとを発信していきたい」という想いが北さつま農協に伝わり理解を得られたことがきっかけです。町内の事業者、北さつま農協、商工会、観光特産品協会、役場の垣根を越え、全国に通用する逸品の販売を通じて、町を元気にすることが目標です。互いの商品を説明し合える「おとなりさんのソムリエ」を合言葉に、ともに高め合うことを理念にしており、事業者同士のつながりや信頼関係も



育んできました。3月17日、16事業所18品目が認証を受け、発表会を開催。薩摩のさつまブランド推進協議会の幹事長を務める堀之内力三さんは「ふるさとが明るい未来へと向かっていく原動力になると信じています。結束を活かしてみんなでやっていきましょう」と力強くあいさつしました。認証商品に貼るシールの販売代金の一部は寄附され、未来を担う子どもたちの教育やスポーツ振興に使われます。これには、子どもたちに町への愛着と誇りを持ってほしいという想いが込められています。ふるさと納税の返礼品のほか、店舗やインターネットでの販売が始まっています。

▼1976年に創業した株式会社左近允は、佐志地区で地域に根差した家づくりを目指す工務店。棟梁の左近允正志さんが代表を務め、温もりを感じる木の家づくりを得意としています。いずれ家業を継ぐべく3年前から同社で働いているのが、長女の左近允杏奈さんです。

▼父の背中を見て育った左近允さんは、幼い頃から大工になることを夢見ていました。過去に本紙で掲載していた「人・夢」のコーナーでも、「大工になり、私が建てた家に住む人を笑顔にしたい」と将来の目標を話しています。そんな左近允さんは薩摩中央高校を卒業してすぐに同社に入社しました。「社会に出て考え方が変わり視野が広がりました」と話す左近允さん。先輩社員や職場で知り合う職人に教わりながら多くの経験を積む毎日。父の正志さんは「自分で考えて一人で仕事ができるようになるには最低10年は必要」とその長い道のりを話します。

▼「資格がたくさん欲しくて」と話す左近允さんは、遺された家具や仏壇、アルバムなどを整理できる遺品整理士の資格を取得しました。町の空き屋バンクにも登録する同社が空き家を取扱いやすくなるほか、事業



仕事道具を入れる腰袋。やっと使用感が出てきたことがうれしいと話します。

佐志小学校6年の頃の左近允さん。「大工になる」という夢を実現させました。2012年12月号掲載。

▼左近允さんは「仕事は楽しいです。何も無かったところに建物が建つ新築や、元の姿と全く違ってきれいになるリフォームも達成感がすごくあります」と目を輝かせます。現在の目標は2級施工管理技士の取得。「大工になる」という夢を叶えた左近允さん。これからもその揺るぎない意志で目標に向かって基礎から築き上げていきます。

者がお客さんにプロのノウハウを教える「さつまdeまちゼミ」では、エンディングノートを作る講師も務めました。

今年も始まります！特定健診

警戒すべきはコロナだけではない

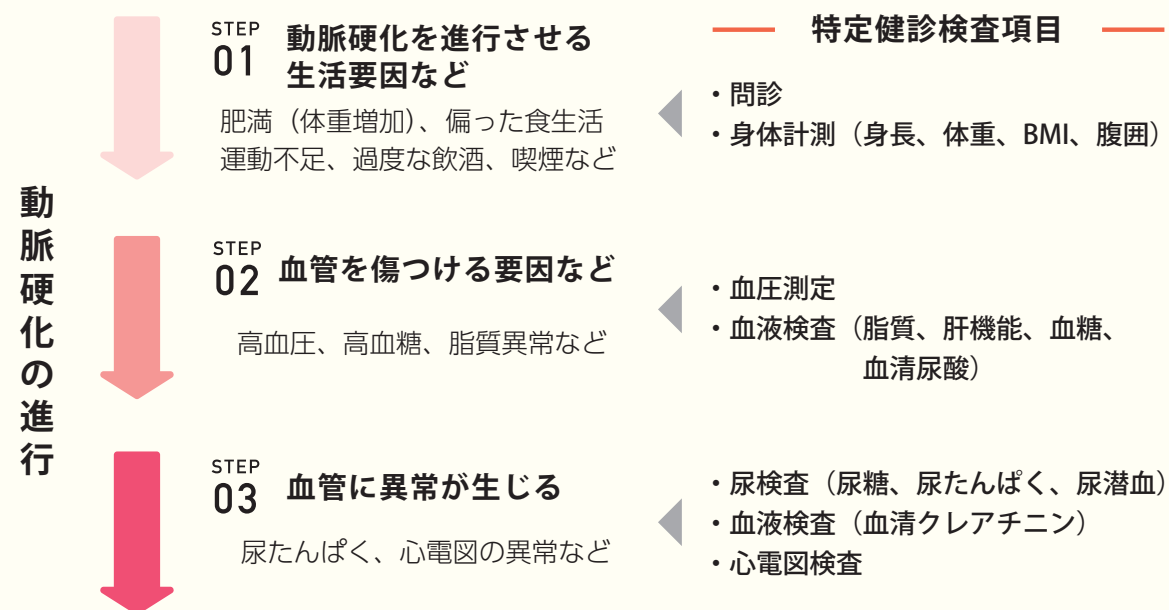
日本人の死因は、がん、心臓病、脳卒中など、その半数以上が生活習慣病によるものです。生活習慣病とは、偏った食生活や運動不足、過度な飲酒、喫煙など好ましくない生活習慣によって発症する病気の総称です。なかでも心臓病や脳卒中、失明や人工透析などの糖尿病の合併症は、突然死や介護が必要な状態を招き、自身や家族の生活を一変させてしまいます。

メタボは生活習慣病の前兆

心臓病や脳卒中の発症の原因は、血管の老化である動脈硬化です。歳をとれば誰でも起こりうるものですが、この動脈硬化を急激に進めてしまうのがメタボリックシンドローム（メタボ）です。メタボは、肥満、高血糖、高血圧、脂質異常が重なった状態です。これらに3、4つ該当する人は全く該当しない人に比べ、心臓病発症の危険度は31倍以上とされています。

特定健診で血管の状態が分かる

特定健診では、直接見ることができない血管の変化、動脈硬化の進行度を知ることができます。



心臓病・脳卒中・腎不全（人工透析）

健診日程や会場は4月7日に配布するチラシをご確認ください

特定健診は治療中でも受けられる

治療中の病気に関する検査と特定健診の検査内容は異なる場合があります。生活習慣病を早期に発見する機会を逃してしまう可能性があるため、特定健診を受診することをおすすめします。

職場健診や自費で人間ドックを受診した方は、結果票を保健福祉課に提出してください。

30代健診や長寿健診もあります

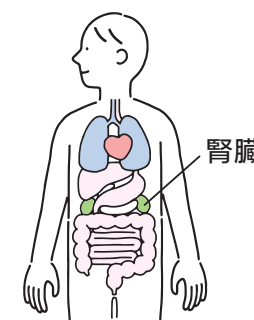
30歳～39歳の国民健康被保険者や後期高齢者医療保険加入者は、特定健診と同じ検査内容で無料の健康診断を受けられます。この機会に自分の体の状態を確認してみませんか。

問 保健福祉課 保険係（内線 2135）

こんにちは
保健師です

学んで、腎臓を守ろう！

腎臓は、お腹の後ろ側に2つある、ソラマメの形をした臓器です。体に「必要なもの」と「不要なもの」を仕分ける働きなどがあります。腎臓に血液が入ると、血液の成分を見分け、必要なものは体に返し、不要なものは水分と一緒に尿として体の外に出します。体に必要である血液やたんぱくが尿に混じっていると、腎臓の働きが低下している可能性があります。腎臓について学び、病気を予防しましょう。



腎臓の働き

- ▶ 尿をつくる 老廃物や毒素を排出する
- ▶ 血圧を調整する 水分や塩分などのバランスを保つ
- ▶ 血液をつくる働きを助ける 赤血球をつくるホルモンを出す
- ▶ 骨を強くする ビタミンDを活性化させる

CKD（慢性腎臓病）

CKD（慢性腎臓病）とは、腎臓の働きが徐々に低下していく様々な腎臓病の総称です。日本国内に約1,330万人の患者がいるとされており、成人の8人に1人がかかっている病気です。

初期症状

初期症状はほとんどありません。腎臓の機能が弱り、CKDが進行すると、疲労感の増加やむくみ、貧血、高血圧などの症状が現れますが、症状が現れる頃には、かなり進行している場合が多いです。症状が無いから大丈夫と考えてはいけません。

予防する

生活習慣を見直して病気を予防する

- ▶ 塩分と脂質の摂り過ぎに気を付ける
- ▶ 脱水を防ぐために水分を十分に摂る
- ▶ 肥満と運動不足を解消する
- ▶ たばことアルコールを控える

薬で病気の進行を遅らせ改善する

医師に相談し、糖尿病や高血圧、高脂血症、高尿酸血症などを適切にコントロールして、処方された薬を飲みましょう。市販のサプリメントは、腎臓に悪影響を与えるものもあります。

病気が進行すると

心筋梗塞や狭心症、脳卒中などの心血管疾患になる場合があります。腎機能が長期にわたり低下して慢性腎不全になると、体から老廃物を出せなくなり、悪化すると回復は難しいとされています。最終的に人工透析や腎移植が必要となります。

兆候を見逃さない

血液検査（eGFR）や尿検査（尿たんぱく）などは、CKDの早期発見につながる重要な手掛かりです。毎年、特定健診を受け、CKDの兆候を見逃さないようにしましょう。40歳～74歳までの国民健康保険に加入している方は、自己負担無料で町の特定健診を受けられます。対象の方には、4月中旬頃に受診券が届きます。



問 保健福祉課 保険係（内線2135）

図書室へ行こう

おすすめの新着本

鶴田中央公民館図書室



なぜ親はうるさいのか 子と親は分かりあえる?

著 / 田房 永子
筑摩書房

親が過干渉になる仕組みを子ども、大人、母親の立場から究明。親子関係で悩んでいる中高生の心得を漫画で描いた一冊。

こども図書館～えほんの森～

屋地楽習館図書室



いいな「じぶん」!

作 / くすのきしげのり
絵 / こば ようこ
英訳 / 中井 はるの
世界文化ワンダークリエイト



おんなの女房

著 / 蟬谷 めぐ実
KADOKAWA

ちょっとだけリニューアル! 鶴田中央公民館図書室

4月の新鶴田小学校の開校に合わせて、鶴田中央公民館図書室を少しリニューアルしました。新しい本が見やすくなるように棚の配置を変え、入口や壁面が明るく見えるよう装飾し、子どもたちが心地良く過ごせるようにしました。もちろん大人の方も大歓迎! 気軽にお立ち寄りください。



▶ こども図書館～えほんの森～ ☎ 57-1202 ▶ 屋地楽習館図書室 ☎ 53-1994 ▶ 鶴田中央公民館図書室 ☎ 53-1111 (内線4412)
▶ 休館日 【4月】11日、17日、25日 【5月】2日、9日、15日、23日、30日

健康さつまポイントを集めよう!

町では、まち全体で健康づくりを意識し、楽しみながら「自分の健康は自分でつくる」という意識の向上につなげていくために、健康さつまポイント事業を行っています。

健康さつまポイントって?

町が行う特定健診、健康教室、団体・個人の習慣的な健康づくりなどに対してポイントを与えます。5ポイント集めて応募すると、抽選で商品券が当たります。個人賞だけでなく団体賞もあります。町内の企業もぜひご参加ください。

スタンプ



シール



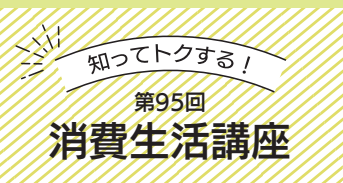
※高齢者元気度アップ・ポイント事業や介護支援ボランティア事業とデザインが異なります。

応募方法など

5ポイント集まったら役場本庁や各支所に設置してある応募箱に投かんまたは郵送してください。

- 対象者
町内に住所がある18歳以上の方（学生除く）
- 期間
4月1日～令和5年3月31日（消印有効）
※令和5年4月上旬に抽選会を行います。
- 当選賞品
1 等：1万円分の商品券……………10本
2 等：5千円分の商品券……………30本
3 等：3千円分の商品券……………80本
4 等：2千円分の商品券……………120本
団体賞：1万円分の商品券……………5本
※内容や本数は変更になる場合があります。

☎ 保健福祉課 健康増進係 (内線2137)



第95回 消費生活講座

理解せずに契約しちゃダメ

電気の契約でトラブル増加

電気の契約切り替えに関する相談が増えていきます。切り替える意思が無ければ、分からないまま契約せずきっぱり断りましょう。

相談内容の例

契約している電力会社の代理店を名乗る人が突然訪問してきた。電気代が安くなるので検針票を見せてほしいと言われ、よく分からないまま申込書に署名して、供給地点特定番号を書いた。手元に書面はないが解約したい。

トラブルを防ごう

▶ 大手の電力会社を名乗ったとしても、まずは事業者名や連絡先を確認しましょう。

▶ 勧誘されても料金プランを説明してもらい、自分に合う内容か確認して、その場で契約せずに家族や周りの人に相談しましょう。

▶ 勝手に契約を切り替えられる場合もあるため、検針票に載っている顧客番号や供給地点特定番号などの情報を安易に教えないようにしましょう。

▶ クーリング・オフできる場合もあるので、困ったらすぐに役場の相談窓口か経済産業省電力・ガス取引監視等委員会の相談窓口（☎ 03-3501-5725）に相談ください。



困ったらすぐにご相談ください

相談窓口（相談無料・秘密厳守）
商工観光PR課 商工振興係
☎ 53-1111（内線2286）

土日の相談は消費者ホットライン
☎ 188 泣き寝入りはいややへ

4月から組織が変わります

簡素で効率的な体制に向け、令和4年度に役場の組織再編を行いました。

課・支所名称	再編前	再編後
財政課	財産管理係	管財契約係
	契約検査係	
町民環境課	環境センター係	環境センター係
	クリーンセンター係	
農政課	農業振興係	農業政策係
	有害鳥獣対策係	
薩摩支所 鶴田支所	総務係	総務税務係
	税務係	
総務課	情報政策係	デジタル推進係

年金手帳は基礎年金番号 通知書に切り替わります

4月以降、年金手帳から基礎年金番号通知書に切り替わり、新たに年金制度に加入する方や年金手帳の紛失などで再発行する方は、日本年金機構から基礎年金番号通知書を発行します。年金の照会や申請は、マイナンバーも利用できます。

申請方法は、役場本庁町民環境課町民係、各支所町民福祉係、川内年金事務所にお問い合わせください。

○お問い合わせ先

川内年金事務所

☎ 0 9 9 6 (22) 5 2 7 6

(自動音声案内②→②)

国民年金保険料 産前産後は免除されます

出産予定日または出産日が属する月の前月から4か月間の国民年金保険料が免除されます。

なお、多胎妊娠の場合は、出産予定日または出産日が属する月の3か月前から6か月間の国民年金保険料が免除されます。

■対象者

国民年金第1号被保険者で平成31年2月1日以降に出産した方。

■免除期間の取扱い

産前産後期間として認められ免除された期間は、保険料を納付したものとして老齢基礎年金の受給額に反映されます。

■申請時期

出産予定日の6か月前から申請できます。早めの申請をお願いします。

年金

国民年金保険料は 前納がお得です

口座振替とクレジットカード納付の申込受付は終了しましたが、納付書での納付は2年前納、1年前納、6か月前納ができます。

納付書で前納した場合、毎月払と比べて2年前納なら14,540円、1年前納なら3,530円、6か月前納なら810円の割引になります。※令和4年度の前納用納付書の使用期限は5月2日(月)です。※保険料額が30万円を超える納付書は、コンビニエンスストアでは利用できません。

【第3子加算額】

・全部支給 6,100円

・一部支給
3,050円～6,090円

■特別児童扶養手当(月額)

4月分からの特別児童扶養手当の額は次のとおりです。

・1級 52,400円

・2級 34,900円

■特別障害者手当等(月額)

4月分からの特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当の支給額は、次のとおりです。

・特別障害者手当 27,300円

・障害児福祉手当 14,850円

・経過的福祉手当 14,850円

○お問い合わせ先

・子ども支援課 子育て支援係
(内線2145)

・保健福祉課 福祉係
(内線2131)

お知らせ

令和4年度以降の 成人式について

4月1日から成年年齢が20歳から18歳へと引き下げられますが、本町では改正後も20歳を対象に式典を開催します。

開催日は、従来どおり1月4日とし、式典の名称は検討中です。

○お問い合わせ先

社会教育課 社会教育係
(内線2532)

2月の火災救急情報

・火災 発生件数 2件
・救急 急病 61件 53人
交通事故 3件 3人
その他 45件 42人
・ドクターヘリ 出動件数 7件
運んだ人 3人

○お問い合わせ先

消防総務課 総務係
☎ (52) 0 1 1 9

軽自動車税の納税証明書 車検を受ける方は注意

軽自動車税を口座振替またはスマホ決済アプリで納付する方は、事務処理の都合により、納税証明書の発行は5月6日(金)以降となります。

令和3年度納税証明書(継続検査用)の証明期限は5月1日(日)までです。5月上旬に車検証の有効期限満了を迎える方は、4月中に車検手続きをお願いします。

○お問い合わせ先

税務課 町民税係(内線2112)

募 集

シルバー人材センター 入会者募集

シルバー人材センターでは、キョウヨウ(今日の用事)とキョウイク(今日行く所)が見つかります。入会説明会に参加希望の方は電話でお申し込みください。当日参加もできます。

■日時 4月19日(火)

午前9時～午前11時30分

■会場 町シルバー人材センター

■対象者 60歳以上の町民

○お問い合わせ先

町シルバー人材センター

☎ (52) 3 3 6 3

助 成

令和4年度 各種手当の額改定

■児童扶養手当(月額)

4月分からの児童扶養手当の額は次のとおりです。

【本体額】

・全部支給 43,070円

・一部支給
10,160円～43,060円

【第2子加算額】

・全部支給 10,170円

・一部支給
5,090円～10,160円

くらしの 情報

町のイベントや手続きなど
様々な情報をお知らせします

税金

軽自動車税の減免

身体障害者手帳、戦傷病者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のうちいずれかを持っている方や、障がいがある方などが利用するために構造変更された軽自動車などは、要件を満たしていれば、軽自動車税の減免を受けられます。

■申請期間 4月11日(月)

～4月25日(月) ※平日のみ

■必要書類 ①身体障害者手帳、戦傷病者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれか
②車検証③運転免許証④納付する前の軽自動車税納税通知書
⑤マイナンバーの確認書類

■注意事項

・障がいの状態と等級によっては減免を受けられない場合があります。
・減免を受けられる車両は、障がいがある方1人に対し、普通自動車などを含め1台です。詳しくはお問い合わせください。

○申込み・お問い合わせ先

税務課 町民税係(内線2112)

今月の納税

・軽自動車税

納期限……………5月2日(月)

口座振替日…4月25日(月)

○お問い合わせ先

税務課 収納係(内線2113)

キオビエダシャクの発生に注意!

キオビエダシャクは蛾の一種で、幼虫期にイヌマキ(ヒトツバ)の葉を食害する害虫です。昨年は県内各地で大量に発生しました。一度発生すると急激に数が増加するため、早期の適切な防除が効果的です。所有者や管理者の方はイヌマキを定期的に観察してください。

▶ 数が少ない場合

イヌマキを揺すって落ちてきた幼虫を駆除します。根元の土中には茶褐色のサナギがいることがあるので掘り起こして駆除します。

▶ 数が多い場合

ロックオン、トレボン乳剤、スプラサイド乳剤の散布が有効とされています。薬剤はホームセンターや農協、園芸品店などで購入してください。散布する前には近隣住民に連絡し、飛散対策をして風がないときに作業してください。駆除の依頼は、町シルバー人材センターや造園業者などに相談してください。

幼虫



成虫



☎ 耕地林業課 林業振興係(内線2432)



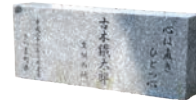
さつまカルタ

37/44枚



図書一般事務員
図師 たつ子 さん

古木鐵太郎は、今から123年前の明治32年に宮之城屋地で生まれました。幼い頃の思い出や家族のことを繰り返しつづり「郷愁の文学者」と呼ばれました。その素直で優しい文章には惹かれるものがあります。昭和29年、住んでいた東京で亡くなり、現在は東谷墓地で静かに眠っています。屋地楽習館では古木鐵太郎の本を取り揃えていますので、ぜひご覧ください。



役場本庁駐車場にある生誕の地の碑▲

【お詫び】

内容の変更に伴い、本紙の発行が遅れ、期日が過ぎている箇所がございます。ご迷惑をお掛けいたしますことを深くお詫び申し上げます。



竹紙を使用しています
(竹パルプ 10%配合)

休日在宅医 / 当番薬局

※都合により変更になる場合があります。受診の際は事前に電話で確認してください。

4月		5月	
さつまクリニック ☎57-0020	24日	m y 薬局さつま ☎29-3100	
小緑内科 ☎52-1676	29日	かぐや姫薬局 ☎29-3301	
木原医院 ☎52-2700	1日	みやんじょ薬局 ☎52-4650	
宮之城病院 ☎53-0180	3日	ふなき薬局 ☎29-3281	
溝口整形外科 ☎52-4668	4日	ヘルシー薬局 ☎21-3739	
てらだ内科クリニック ☎21-3232	5日	さし薬局 ☎21-3610	
薩摩郡医師会病院 ☎53-0326	8日	青空薬局 ☎52-0101	

人口のうごき

令和4年3月1日現在(前月比)
 人口 19,472人 (-71)
 男 9,103人 (-26)
 女 10,369人 (-45)
 世帯数 8,922世帯 (-49)
 転入 39人 転出 63人
 出生 7人 死亡 54人

通学優先バス

— 臨時便の運行日 —

4月: 21~22日、25~27日
 5月: 2日、6日、9日

※臨時便運行日は最終便運休
 (問) 企画政策課 地域振興係

Facebook



Instagram



LINE



YouTube

